

2025 年度公益社団法人日本図書館協会事業報告

はじめに

2025 年度第 1 回代議員総会において今期の理事信任が行われた。業務執行理事では 2 名の交代があり、地区選出及び部会選出理事でも数名の交代があった。理事長は再任され、これまでの基本方針が大きく変わることはないが、執行部・理事会は新しい体制となった。日本図書館協会（以下「協会」という。）にとって会員数の減少が続く厳しい状況は変わらないが、新体制となったことで新たな取り組みが始まった。

その一つが、「部会・委員会のあり方検討委員会」である。部会は、会員がすべからく参加するものであり、定款には「活動部会は、その専門的領域に関し、理事会の承認のもとに、第 4 条第 1 項各号に掲げる事業（協会の行う事業のこと）を行うことができる」（第 50 条第 3 項）とされ、委員会は「理事会の決定に基づいて、調査し、研究し、又は事業を実施する」（第 51 条第 2 項）とされている。つまり、部会は、部会に所属する会員の活動を通じて協会の事業推進に寄与し、委員会は、設置された目的に基づき調査、研究、協会事業の実施を担うものである。これら部会・委員会の活動が活発に行われていることが、協会が事業を十分に行えているということであり、図書館界だけでなく社会的にも協会の存在意義を示すことにも繋がることになる。同時に会員にとっても、部会・委員会による協会事業からの便益を受けることができるだけでなく、自らが部会や委員会に参加することで、知識・経験の蓄積、充実感を得ることもできる。部会・委員会のあり方を検討することは、協会事業の充実だけでなく、会員の満足度を高め、外部からの協会事業の見え方をより分かりやすく、魅力的なものとする。

もう一つが「市民と図書館の未来プロジェクト」である。1970 年に発刊された『市民の図書館』から 55 年の歳月が流れ、社会状況や図書館も大きな変化を遂げている。『市民の図書館』に先立って 1968 年から始まった「公共図書館振興プロジェクト」から 57 年が経過した今、遅ればせながらも「市民と図書館の未来プロジェクト」を立ち上げ、現在における公共図書館の未来展望を提案することは協会が社会的に果たすべき大きな役割である。

2025 年度においても、事業収益の確保、会員の入会促進という大命題を実現することは叶わなかった。しかし、上記 2 つに代表される新たな取り組みが協会を活性化し、これからの協会のあり方を示し、協会に変革をもたらすものであることを、ひいては協会の経営基盤を支えることに繋がるものとなることを信じている。

2025 年度には代議員選挙も実施され、新たに当選された代議員の方々も協会の経営に参画することとなった。2025 年度は協会が新しくなるための第一歩を踏み出した年度と位置付けられることを期待する。

I 基本方針

1. 図書館活動の中核を担う図書館員の社会的地位の向上と研修

正規・非正規を問わず、人々の知識・情報要求に的確に答えるべく、2025 年度は以下の重点事業等を実施し、図書館職員としての専門的知識・技能の向上をさらに目指す多様な研修機会を提供し、司書の価値を社会に訴え、総じて司書職の社会的地位の向上に努めた。

<重点事業>

① 全国図書館大会の開催

第111回全国図書館大会愛媛大会は10月30日（木）、31日（金）の2日間、対面式で開催された。30日の全体会は愛媛県民文化会館を会場に行われ、基調講演として「読むこと 書くこと 生きるということ」をテーマに、白川密成氏（四国八十八ヶ所霊場第57番札所栄福寺住職）、高橋久美子氏（作家、作詞家）、田丸雅智氏（ショートショート作家）によるトークショーを開催した。分科会については、五つの会場において、対面による10分科会を開催したほか、動画配信による2分科会を開催した。協会が担当する分科会については、今後の開催形態を模索する新しい試みとして、分科会テーマを募集し、複数の委員会等の協力により企画・運営する形を取った。2日間の大会参加者数は854名であった。

② 日本図書館協会認定司書制度の取り組み

図書館活動の中核をなす司書を協会で認定するために設けられたのが認定司書制度で、認定司書が協会の様々な分野で活躍するよう努めた。第16期認定司書認定事業を実施し、26名の申請から新規認定8名、認定更新11名の計19名を認定した。認定証交付式を第111回全国図書館大会愛媛大会全体会で実施した。また、認定司書制度改正特別検討チームにおいて、新しい認定司書制度についての検討も開始した。

③ 各種研究集会・研修・セミナーの開催

「Ⅱ 公益目的事業実施状況 1. 大会・集会・育成 (3) 部会等による研究集会・シンポジウム」に記載した通り、活動部会・委員会による研究集会・シンポジウムを実施した。

④ 図書館職員育成のための助成

これからの図書館を担う若手図書館職員の資質向上及び育成を図るための「未来の図書館職員育成事業」の開始を計画していたが、内閣府への認定変更申請の手続きが変更されたことにより、その申請準備のため、2025年度の実施は見送ることとなった。

2. 調査・研究・普及等、図書館振興のための取り組み

2025年度においては、図書館を取り巻く状況を的確に分析した成果を図書館振興に役立てていくために、図書館の管理運営や、図書館サービスの課題ごとに調査・研究を進め、資料を積極的に収集・提供するとともに、デジタル資料の収集・提供等、非来館型のサービスの向上を目指し、以下の事業を実施した。さらに、3ツールの将来的な維持活動について、国立国会図書館収集書誌部との連携に向けた検討を開始した。

<重点事業>

① 調査・研究及びその成果の普及

活動部会及び委員会等での成果を「Ⅱ 公益目的事業実施状況 2. 調査研究・検討会・資料刊行」に記載した。

② 『日本目録規則 2018年版』の維持活動

『日本目録規則 2018年版』に関する維持・普及活動として、PDF版更新、データ作成事例の追加、質問・要望への対応検討等を行った。また、15年ぶりとなる「目録の作成と提供に関する調査」を実施し、結果の集計・分析を進めた他、目録に関する内外の動向のキャッチアップも行っている。

③ 図書館員による図書紹介事業の推進

『図書館雑誌』で「図書館員のおすすめ本」を連載し、公共図書館、学校図書館等における選書等で参考になる図書を紹介した。また機関誌内にとどまらず、広く選書等の参考に資するもの

となるべく、雑誌掲載文章を協会 Web サイトに公開するとともに『週刊読書人』への転載を実施した。その他、連載をまとめた書籍『司書が書く 2 図書館員のおすすめ本』を JLA 図書館実践シリーズ 50 として刊行した。

④ 日本図書館協会図書館建築賞の顕彰

第 41 回日本図書館協会図書館建築賞の募集、選考審査を行い、学習院大学図書館を受賞館として、第 111 回全国図書館大会愛媛大会において表彰を行った。受賞館は、限られた敷地において、多様な機能を多層階に展開する大学図書館の参考になりうる事例として評価された。また、『図書館雑誌』2025 年 8 月号で講評を掲載し、第 42 回図書館建築賞応募館の募集を行った。

3. 政策提言など図書館振興のための活動

2025 年度においては、文部科学省（以下「文科省」という。）の「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」（以下「有識者会議」という。）に委員を派遣し、協会としても、デジタル化や読書バリアフリーへの取り組みなど、社会の変化に学校図書館、公共図書館がどのような役割を果たしていくべきかの検討を始め、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」「学校図書館ガイドライン」「学校図書館図書標準」などの改正に向け、以下の事業を実施した。

<重点事業>

① 公立図書館の調査結果の活用

2024 年度に公共図書館部会で実施した電子書籍に関するアンケート調査については、取りまとめ作業に時間を要しているが、引き続き作業を行い、その成果を都道府県立図書館及び市区町村立図書館へ情報提供していく予定である。

② 学校図書館の整備・充実

2023 年度に実施した「学校図書館職員に関する実態調査（自治体向け）（個人向け）」によって判明した学校司書の過当たりの勤務時間の少なさや複数校兼務などの様々な問題、有償ボランティアや民間委託の実態の改善を目指し、「学校司書の配置・処遇等について（見解）」を公表し、さらに、「いつでも開いている学校図書館へー学校司書の配置等に関する提言ー」を発出した。

提言では、フルタイムで一校専任の学校司書の配置、学校司書を職員の一員として処遇すること、研修の制度化や学校図書館法の改正の必要性を訴えた。

③ 認知症予防に対する貢献

厚生労働省と連携し、9 月の「認知症月間（世界アルツハイマー月間）」に合わせて、19 都道府県 57 館の啓発事例を協会 Web サイトで公開した。また、12 月には自治体の図書館蔵書数が多いほど高齢者の要介護リスクが低いという研究結果に基づき、「健康寿命の鍵は本棚にあった～高齢者と図書館の関係について～」と題し、研究を進めている研究者の講演会を開催するなど、行政と協力し図書館の役割と健康の関連性を広く発信した。

④ 自然災害への備えの呼びかけ

地震への備えについてまとめていた「南海トラフ「巨大地震注意」呼びかけの終了に伴う対応 Ver. 2.1」の表題を変更して内容を一部更新し、「人命と資料と施設を守るための災害対策 [図書館員向け]」として公開した。

II 公益目的事業実施状況

1. 大会・集会・育成

(1) 第111回全国図書館大会愛媛大会

テーマ：「図書館が彩る未来伊予路から」

期日：対面開催 2025年10月30日（木）～10月31日（金）

第11、12分科会動画配信

2025年10月7日（火）～2025年12月31日（水）

会場：愛媛県県民文化会館、愛媛県男女共同参画センター、愛媛大学、愛光学園、松山市総合コミュニティセンター、愛媛県視聴覚福祉センター

参加者：参加者 854名

記念講演：「読むこと 書くこと 生きるということ」（トークショー）

白川密成氏（四国八十八ヶ所霊場第57番札所栄福寺住職）・高橋久美子氏（作家、作詞家）・田丸雅智氏（ショートショート作家）

分科会一覧

	分科会名	テーマ	担当	参加者数
1	公共図書館	「社会教育機関としての公共図書館の可能性 ～学び合い、共に愉しむ場を目指して～」	愛媛県	107名
2	大学・短大・高専図書館	「研究支援と図書館」	愛媛県	74名
3	児童・青少年の読書活動支援	「読書の力で育む子どもの未来 ～読書活動支援の工夫と実践～」	愛媛県	108名
4	図書館とデジタル化	「図書館とデジタル化 -OPAC から生成 AI、そして次にくるもの」	業務執行理事	130名
5	災害と図書館	「災害への備えと対応」	図書館災害対策委員会	46名
6	出版社・書店・図書館	「地域をつなぐ、地域とつながる図書館と書店 -出版社・書店の現状を認識し、読書文化を守るため、図書館に何ができるかを本気で議論する-」	業務執行理事	70名
7	専門図書館・健康情報	「愛媛から市民と共に未病・健康・医療を考える -健康・医療情報提供とヘルスリテラシー -」	専門図書館部会・健康情報委員会	33名

8	インクルーシブな図書館	「障壁のないインクルーシブな読書環境の整備に向けて」	多文化サービス委員会・業務執行理事	71名
9	障害者サービス	「四国からー読書バリアフリーを進めるためにー」	障害者サービス委員会	45名
10	資料保存	「持続可能な資料保存（環境管理）」	資料保存委員会	25名
				合計 577名

録画配信

	分科会名	テーマ	担当	視聴回数
11	図書館の自由 (配信)	「図書館の自由・この1年」	図書館の自由委員会	86回
12	非正規雇用職員 (配信)	「非正規雇用とキャリア形成」	非正規雇用職員に関する委員会	150回
				合計 236回

(2) 認定司書事業（認定司書事業委員会）

第16期認定司書認定事業	申請	認定	累計247名 (2026年3月31日現在)
	26名	19名 内認定更新 11名 新規 8名	

第15期認定司書認定証交付式を10/30の第111回全国図書館大会愛媛大会全体会で1名に代表交付した。

(3) 部会による研究集会・シンポジウム

*協会2階研修室での開催は「協会」と略、オンライン（同時配信、後日オンデマンド配信とも）は「OL」と表記。

担当部会	時期	名称・内容	場所	参加者数等
公共図書館	12/1～2	全国公共図書館研究集会 ○サービス部門 総合・経営部門	静岡県コンベンション アーツセンター ターゲットラン シップ/OL	講演会：666名 事例報告等：101名 OL：575名
	12/8～ 2026/1/19	○児童青少年部門	OL	視聴者数：881名 視聴回数：3,464回

大学図書館	2026/1/9	大学図書館シンポジウム「オープンサイエンス時代におけるデジタル・コンテンツ基盤の構築：国立国会図書館と大学図書館の連携・協力によってもたらされる未来」	OL	約 550 名
短期大学・高等専門学校図書館	11/6	「BIC ライブラリ」見学研修	BIC ライブラリ（東京都港区）	6 名
学校図書館	8/8, 9	第 53 回夏季研究集会東京大会	協会/OL	51/52 名 計 103 名
図書館情報学教育	6/8	第 1 回研究集会「司書課程の持続可能性」	青山学院大学青山キャンパス/OL	21 名
	2026/3/1	第 2 回研究集会「初期キャリア教員交流会」	尚綱大学九品寺キャンパス/OL	53 名

(4) 委員会による研修・セミナー・講座等

*協会 2 階研修室での開催は「協会」と略、「委員会」は略。オンライン（同時配信、後日オンデマンド配信とも）は「OL」と表記。

担当委員会	開催日	名称・内容	場所	参加者数
図書館政策企画	2026/3/15	図書館政策セミナー「市民と図書館～ともに図書館のすそ野を広げてゆくために～」	協会/OL	41/71 名 計 112 名
図書館の自由	10/1～31	セミナー 図書館の自由 2025 「ぶらっしゅあっぷ！図書館の自由」	OL	53 名
	2026/2/14	図書館員の倫理綱領 45 周年記念講演会「知的自由の戦後 80 年と現在地」	協会/OL	43/34 名 計 77 名
資料保存	6/30	資料保存セミナー「「環境管理」の現場を訪ねる－三康文化研究所附属三康図書館－」	三康文化研究所附属三康図書館	15 名
	12/22	映画『疎開した 40 万冊の図書』上映会＋談話	協会	23 名
	2026/1/19	資料保存見学会「脱酸性化処理の現場を訪ねる－キハラ・プリザベーション株式会社－」	キハラ・プリザベーション株式会社	7 名
障害者サービス	5/18	音訳者・音訳ボランティアのための著作権セミナー	協会/OL	204 名

	協会 11/21 OL 12/23～ 3/31	著作権法第 37 条第 3 項による資料製作を 行う図書館・点字図書館職員のための著 作権セミナー	協会/OL	協会 21 名 OL 143 名 計 164 名
	協会 6/5, 6 OL 7/1～ 9/30	障害者サービス担当職員養成講座 (入門)	協会/OL	協会 35 名 OL 83 名 計 118 名
	講義： OL 同時 12/3, 4 OL 後日 2026/2/ 6～3/31 実習： 11/27～ 12/19 (半日 or 1 日)	障害者サービス担当職員向け講座 (国立 国会図書館関西館との共催) 講義(国立国会図書館が担当) 実習(JLA 障害者サービス委員会が担当)	講義：OL(同 時配信及び 後日配信) 実習：各施 設	講義：同時 配信 142 名 後日配信 216 回 実習：51 名 計 193 名 216 回
児童青少年	前期： 6/24～6/29	第 45 回児童図書館員養成専門講座	協会他	16 名
	後期： 9/24～10/3			
研修事業	11 月～12 月	中堅職員ステップアップ研修 (1) ※オリエンテーション 10 月	OL	受講 39 (内 修了 38) 名
	7 月～10 月	中堅職員ステップアップ研修 (2) ※オリエンテーション 6 月	OL 20 科目/ 協会 4 科目	受講 22 (全 科目 11, 領 域単位 11, 修了 17) 名
図書館施設	2026/2/20 ～ 21	第 46 回図書館建築研修会 (2025 年度) 「よい図書館をつくる in 関西」	追手門学院 大学	90 名
健康情報	2026/1/19	研修会「地域とつながる健康医療情報サー ビス～公共図書館・医学図書館の実践から 学ぼう～」	OL	37 名
認知症バリア フリー図書館 特別検討チー ム	12/4	研修会「健康寿命の鍵は本棚にあった～高 齢者と図書館の関係について～」	協会/OL	105 名
非正規雇用職 員に関する	9/23	非正規雇用職員セミナー (九州)「見えてきた“現場のリアル”－ 学校図書館と非正規雇用をめぐる課題－」 (東京)「変わるか 会計年度任用職員と 公契約条例」	福岡県立図 書館/OL 協会/OL	34 名
	12/15			12/35 名

	9/8, 10/6	図書館基礎講座 2025 in 関西	豊中市立岡町図書館	68名
	1/19, 2/2	図書館基礎講座 2025 in 九州	鳥栖市立図書館	70名
	2026/3/3～5/31	図書館基礎講座 2025 オンライン	OL	6,500回以上 (2026/5/31まで公開)

(5) 未来の図書館職員育成事業

図書館職員育成に関する助成事業として「未来の図書館職員育成事業」の実施に関する準備を進めたが、内閣府の認定変更申請の手続き変更への対応のため、2025年度の実施は見送ることとなった。

(6) 図書館総合展への参加、出展

① 協会ブースで当協会の出版物・グッズを販売し、出版社と連携してワードクエストを開催した。

② フォーラムの開催

「市民と図書館の未来プロジェクト」

期日：10月24日（金） 会場：パシフィコ横浜 第1会場

参加者：175名

プロジェクトメンバー：石川敬史（十文字学園女子大学）、小澤多美子（県立長野図書館）、是住久美子（田原市教育部次長兼図書館長）、呉屋美奈子（恩納村教育委員会文化情報センター）、澤谷晃子（大阪市立中央図書館）、嶋田学（京都橘大学）、高橋将人（南相馬市立中央図書館）、西村優子（瑞穂町図書館）、丸山直也（山梨県立図書館）、村上さつき（松戸市立図書館）

2. 調査研究・検討会・資料刊行

■活動部会（カッコ内は担当部会）

- ① 『公共図書館部会通信』No.21（2025年4月）、No.22（2025年6月）の発行（公共図書館）
- ② 『学校図書館部会報』発行 年3回 No.79（2025年7月）、No.80（2025年12月）、No.81（2026年3月）の発行（学校図書館）
- ③ 「学校図書館施設設備基準 第2版訂正版」（2025年8月）作成（学校図書館）
- ④ 『学校図書館施設設備基準 解説－「対話」から始める』（JLA Booklet）（2025年10月）刊行（学校図書館）
- ⑤ アンケート「あなたと日本図書館協会」（2025年2月3日～2月21日）（専門図書館）
- ⑥ 『日本の図書館情報学教育』第2次調査結果の精査、『会報』第139号（2026年1月）の発行（図書館情報学教育）

■委員会（カッコ内は担当委員会）

- ① 「公立図書館の任務と目標」の「図書館システム整備のための数値基準 2023年改訂」（図書館政策企画）、「図書館におけるクマ出没対策について」の取りまとめ（図書館政策企画）
- ② 『図書館の自由』ニューズレター（電子版）127号（2025年5月）～129号（2026年2月）

発行、委員会ページに掲載 購読数 429、『図書館雑誌』に「こらむ図書館の自由」を連載、委員会ページにバックナンバー掲載（図書館の自由）

- ③ 『ネットワーク資料保存』（139号～142号）発行（資料保存）
- ④ 公立図書館児童サービス実態調査の実施（調査期間 7/1-9/20）（児童青少年）
- ⑤ 『図書館雑誌』第119巻第4号～第120巻第3号刊行（図書館雑誌編集）
- ⑥ 『現代の図書館』第62巻第4号（通巻252号）～第63巻第3号（通巻255号）刊行（現代の図書館編集）
- ⑦ 新刊9点（Booklet2点、実践シリーズ3点、単行書等4点）、増刷14点（Booklet1点、実践シリーズ2点、テキストシリーズ7点、単行書等4点）刊行（出版）
- ⑧ 「2025 目録の作成と提供に関する調査」（調査期間 9/1-10/31）、NCR2018 PDF 版更新（2025年5月）、データ作成事例の追加（2025年9月）（目録）
- ⑨ 『日本の図書館』調査の実施、『日本の図書館 統計と名簿 2025』（冊子版、電子媒体版）の刊行、『図書館雑誌』・『図書館年鑑』原稿の作成、他委員会へのデータ提供及び支援（図書館調査事業）
- ⑩ 『第46回図書館建築研修会（2025年度） よい図書館をつくる in 関西』テキスト刊行（2026年2月）※研修会テキスト、施設A会員配付資料（図書館施設）
- ⑪ 「多文化サービス実態調査 2025」（調査期間 2025/11/1-2026/1/31）（多文化サービス）
- ⑫ 新しい認定司書制度について検討（認定司書事業委員会認定司書制度改正特別検討チーム）
- ⑬ 能登半島地震被災地における第3回図書館現地調査の実施（2025/4/22）（図書館災害対策）
- ⑭ 『図書館年鑑 2025』（2025年7月刊行 B5判 473p 1550部 20,000円）（図書館年鑑編集）
- ⑮ 『司書が書く 2 図書館員のおすすめ本』（JLA 図書館実践シリーズ50）の刊行（図書紹介事業）

3. 「日図協図書館」の運営

日図協図書館の中・長期計画に沿って、同館のさらなる事業計画の検討及び事業実施に対する助言を通して、館長へ協力、同館の運営に寄与し、特に、寄贈資料の受入体制の確立、並びに図書館ホームページへの窓口掲載について、OPAC での逐次刊行物データの整備について助言と意見交換を行った。（図書館運営委員会）

【2025年度日本図書館協会図書館運営状況】

開館日数：224日 来館者：72名 レファレンスサービス：45件
資料受入数：図書235冊 逐次刊行物1,356点

4. 図書館の振興

(1) 政策提言に関する事業（理事会、常任理事会、活動部会、委員会）

- ・文科省の「有識者会議」に業務執行理事が委員として参加し、会議での検討及び「図書館が拓く未来の学びと地域社会（報告書）」（令和8年3月）の作成に寄与した。
- ・2023年度に非正規雇用職員に関する委員会が実施した「学校図書館職員に関する実態調査（自治体向け）（個人向け）」によって判明した問題点を踏まえて、2025年9月に非正規雇用職員に関する委員会と学校図書館部会による「学校司書の配置・処遇等について（見解）」を公表した。さらに、フルタイムで一校専任の学校司書の配置、学校司書を職員の一人として処遇すること、

研修の制度化や学校図書館法の改正を提言する「いつでも開いている学校図書館へー学校司書の配置等に関する提言ー」を発売した。

・「図書館員の倫理綱領」の制定 45 周年を記念する講演会「知的自由の戦後 80 年と現在地」を開催した。「倫理綱領」は、自由宣言に記された知的自由の担い手である図書館員の専門性をまとめたものであるが、近年はあまり顧みられることが少なくなっている。「戦後 80 年」を迎え、「倫理綱領」を読み直し、図書館を支えてきた知的自由の「現在」の再考を行った。(図書館の自由委員会)

・文科省等が開催する読書バリアフリー法関係会議へ出席し、提言等を行った。出席したのは次のとおり。(障害者サービス委員会)

「特定書籍等の製作に係るデータ提供のあり方についての検討ワーキンググループ」

「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究」

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に係る関係者協議会」

・日本認知症官民協議会への出席(認知症バリアフリー図書館特別委員会)

・2009 年に刊行された『公立図書館の任務と目標 改訂増補版』の改訂に向けた検討を行った。(図書館政策企画委員会)

・公立図書館及び学校図書館に勤務する職員の処遇改善に向けて関係団体と意見交換、情報共有を行う「非正規雇用改善のための連絡会」を開催した。(非正規雇用に関する委員会)

(2) 図書館設置及び運営等に関する相談、講師の派遣又は紹介事業(関係委員会)

各地の図書館・団体等からの相談に応じた他、依頼による講師の派遣又は紹介を行った。

① 電話等問合せ対応

マスコミ 6 件、図書館 46 件、自治体 8 件、企業・団体 10 件、個人 44 件

② 講師派遣

<著作権委員会>

埼玉県西部地域まちづくり協議会図書館部会、西播磨図書館連絡協議会職員研修、千葉経済大学短期大学部と千葉県立東部図書館との連携研修会、専門図書館協議会、宮城県高等学校学校図書館研究会、山梨県・図書館職員専門研修、北陸地区公共図書館職員研修会、埼玉県図書館協会新任職員研修会

<図書館の自由委員会>

埼玉県杉戸町立図書館友の会

<資料保存委員会>

すぎなみ地域大学図書館「本の修理ボランティア講座」、アナログゲームミュージアム「保存と補修の講座」、明大サポート、市町村立図書館等職員基本研修(青森県)、千葉県高等学校学校図書館部会第 4 地区司書の会、国立大学図書館協会中国四国地区「災害対策」、京都府立京都学・歴彩館、練馬区立関町図書館「修理の基本」、北海道日高管内市町村立図書館等職員基本研修、東京都立多摩図書館「本を修復する仕事ーカッコイイ大人の話を聞く会 vol. 2ー」、日本データベース開発株式会社

(3) 日本図書館協会図書館建築賞事業(図書館施設委員会)

第 41 回日本図書館協会図書館建築賞の募集、選考審査を行い、学習院大学図書館を受賞館として、第 111 回全国図書館大会愛媛大会において表彰を行った。また、第 42 回図書館建築賞応募館の募集を行った。

(4) 図書館災害対策事業(図書館災害対策委員会)

・4月22日に能登半島地震被災地における第3回図書館現地調査を実施し、輪島市立図書館、穴水町立図書館の2館への訪問調査を行った。

・2025年7月から9月にかけての大雨の被害状況についても調査を行い、委員会ページに掲載した。

・2025年度においても引き続き、災害等により被災した図書館等への助成を行い、図書館災害への指定寄附金等を原資として16機関に278万3千円の助成を行った。

・関係団体、企業との「能登半島地震の支援に係る情報交換会」を開催した(6/18, 11/13)。

(5) その他図書館振興に資する事業

① 図書館総合展(10月22日～24日開催)へブースの出展を行った。また、プロジェクトの趣旨の広報、政策提言のための意見交換、多くの図書館関係者による議論を広げていくことを目的に「市民と図書館の未来プロジェクト」のフォーラムを開催し、175名の参加を得た。

② 本協会役員が各地区図書館協会開催の会員のつどいや講演会・講習会等に積極的に参加して、地方と密着した本協会運営に取り組んだ。

③ 国際交流事業(国際交流事業委員会)

・米国アリゾナ州図書館協会(AzLA)ホーナー国際交流基金による研修生を受け入れ、第111回全国図書館大会愛媛大会に参加する他、いくつかの図書館や関連施設の見学を行った。

・国際図書館連盟(IFLA)2025年カザフスタン大会に国際交流事業委員会から参加した。

・第111回全国図書館大会愛媛大会において、IFLA及び韓国図書館協会(KLA)から祝辞をいただいた。

④ 図書館記念日(4月30日)・図書館振興の月(5月)の普及活動

シンガーソングライターのつじあやの氏の協力を得て、2026年度の図書館記念日(4月30日)・図書館振興の月(5月)ポスターを制作した。2026年度4月に全国の図書館に配付予定。

⑤ 図書館振興を図る団体との連携

・学校図書館問題研究会、学校図書館を考える全国連絡会、図書館問題研究会、図書館友の会全国連絡会、公務非正規女性全国ネットワーク(はむねっと)、特定非営利活動法人官製ワーキングプア研究会との定期的な連絡会を開催し、図書館で働く職員の処遇改善に向けた意見交換・情報共有を図った。

・図書館政策セミナー「市民と図書館～ともに図書館のすそ野を広げていくために～」(2026/3/15)を開催し、図書館友の会全国連絡会、多摩市の図書館をともに育てる会など図書館に関する市民活動を行っている団体等と意見交換を行った。

⑥ 公立図書館等の資料費増額等に向けた運動に関する出版界との連携

文部科学省の委託事業「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり推進事業」により、田原文化会館・田原市立図書館(愛知県)、県立長野図書館、都城市立図書館・都城市メインホテル(宮崎県)、熊本市立図書館において「書店と図書館がつなぐ未来の読者」の講演会、書店員と図書館員による合同研修会を開催し、地域の書店と図書館との連携を進めた。

⑦ 後援・共催

共催2件、協力1件、後援69件を行った。

⑧ 協会Webサイトの刷新

情報発信力を高め、本協会のイメージアップ、ブランディング向上をはかるため、本協会のWebサイトのリニューアルを行い6月に公開した。リニューアルにあたっては、協会活動の「見える化」を促進し、より見てもらえるWebサイトとなるよう、サイト構成を分かりやすく、必要な情

報へのアクセスを容易にするよう工夫した。

Ⅲ 収益目的事業実施状況

1. 日本図書館協会施設の貸与

協会会館の6階を事務所スペースとして賃貸しているが、2室の内1室が空きとなっている。入居者を探すことと並行して、館内の利用スペースの見直しを行い、協会会館全体の有効活用方策の検討を進めた。

Ⅳ 管理運営活動

1. 健全な財務基盤の確立

中長期財務計画を踏まえた事業収益の確保に努めたが、出版事業において新刊書籍の企画が予定どおり進まず、2025年度は、新刊が2024年度の16点から大幅減となる9点の刊行にとどまり、収益減となった。会員の退会も2024年度に比較して増加し、特に施設会員の退会が目立った。2025年度には「部会・委員会のあり方検討委員会」を立ち上げ、会員にとって魅力ある協会はどうあるべきかの検討を始めた。この委員会の検討を踏まえて、協会の体制変革を進めることで会員の確保に努め、会費収入の確保に繋げていくこと、出版部門への人的資源の配分を含めた抜本的な出版事業見直しが喫緊の課題となっている。

(1) 会員の動向

ここ数年の会員減少の割合は若干緩やかになってきていたが、2025年度はまた増加率が高まった。個人会員の減少だけでなく、施設会員における退会が増えていることが大きな問題となる。退会理由の把握に努め、退会を減らす対応が急がれる。

個人会員・施設会員の推移

	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3
個人会員	3,035	2,912	2,769	2,671	2,615	2,591	2,513
前年比	▲227	▲123	▲143	▲98	▲56	▲24	▲78
施設会員	2,175	2,163	2,158	2,136	2,134	2,129	2,109
前年比	▲29	▲12	▲5	▲22	▲2	▲5	▲20
会員計	5,210	5,075	4,927	4,807	4,749	4,720	4,622
前年比	▲256	▲135	▲148	▲120	▲58	▲29	▲98

(2) 事務局体制

・職員数：総務部5名、企画調査部3名、出版部1名、嘱託5名、派遣1名（2026年3月末現在）

2. 適切・公正・透明な管理運営の推進

代議員総会（2回開催）、理事会（5回開催）、常任理事会（7回開催）において、それぞれ適切・公正・透明な運営に努め、管理運営に関する情報の公開にも配慮を行った。2026-2029年度代議員（個人会員選出及び団体会員選出）選挙を実施し83名の代議員を選出した。（投票率

50.2%)

[資料1] 会員現数 (2026年3月31日現在)

個人会員 : 2,513

施設会員 : 2,109 (公共 1,168、大学 653、短大高専 130、学校 58、専門 100)

団体会員 : 19

賛助会員 : 54

準会員 : 8

[資料2] 部会活動報告

部会名	活動内容
公共図書館部会	<p>総会 (5/15~6/6 書面決議)</p> <p>(1) 2024 (令和 6) 年度公共図書館部会事業報告及び収支決算報告について</p> <p>(2) 2025 (令和 7) 年度公共図書館部会事業計画案及び経費収支予算について</p> <p>(3) 2025-2026 年度公共図書館部会幹事選出について</p> <p>(4) 2025 (令和 7) 年度公共図書館部会部会長・副部会長の選出について</p> <p>幹事会</p> <p>第1回 (4/15~4/25 書面決議)</p> <p>(1) 2025 年度公共図書館部会幹事選出について</p> <p>(2) 2024-2025 年度公共図書館部会代議員候補の選出について</p> <p>(3) 2025 年度公共図書館部会総会の開催について</p> <p>(4) 2024 年度公共図書館部会事業報告 (案) について</p> <p>(5) 2024 年度公共図書館部会収支決算書 (案) について</p> <p>第2回 (5/9 協会及びオンライン)</p> <p>(1) 2025 年度公共図書館部会幹事選出について (追加)</p> <p>(2) 2025 年度公共図書館部会部会長・副部会長の選出について</p> <p>(3) 2025-2026 年度日本図書館協会理事候補者の選出について</p> <p>(4) 2025 年度公共図書館部会推薦代議員候補の選出について</p> <p>第3回 (11/19~12/2 書面決議)</p> <p>(1) 2026 年度公共図書館部会事業計画 (案) 及び 2026 年度公共図書館部会収支計画書 (案) について</p> <p>第4回 (3/6 協会及びオンライン)</p> <p>(1) 2026 (令和 8) 年度公共図書館部会事業計画 (案) 及び部会経費収支計画書 (案)</p> <p>(2) 2026 (令和 8) 年度第1回・第2回幹事会及び部会総会の開催について</p> <p>(3) 全国公共図書館研究集会の開催頻度の変更について (案)</p> <p>(4) 「望ましい基準」改定にむけたワークショップの開催について (案)</p>
大学図書館部会	<p>部会委員会 (2025/5/19~5/23 メール会議)</p> <p>(1) 2024 年度大学図書館部会事業報告及び部会経費収支報告について</p>

	<p>(2) 2025-2026 年度大学図書館部会委員会委員（個人会員）候補者の推薦について</p> <p>(3) 大学図書館部会総会の決議方法の変更について</p> <p>(4) 公立大学協会図書館協議会の名称変更による大学図書館部会規程の改正について</p> <p>(5) 2025 年度大学図書館部会総会の開催通知案について</p> <p>部会総会（2025/5/29～6/6 メール会議）</p> <p>I. 報告事項</p> <p>(1) 2024 年度大学図書館部会事業報告及び経費収支報告について</p> <p>(2) 2025 年度大学図書館部会事業計画及び予算調書について</p> <p>II. 協議事項</p> <p>(1) 2025-2026 年度一般理事B候補者の推薦について</p> <p>(2) 2025-2026 年度大学図書館部会委員会委員（個人会員）候補者の推薦について</p> <p>(3) 大学図書館部会総会の決議方法の変更について</p> <p>(4) 公立大学協会図書館協議会の名称変更による大学図書館部会規程の改正について</p>
<p>短期大学・高等 専門学校図書館 部会</p>	<p>部会総会（6月 書面決議）</p> <p>(1) 2024 年度公益社団法人日本図書館協会短大・高専図書館部会事業報告及び決算報告について</p> <p>(2) 2025 年度公益社団法人日本図書館協会短大・高専図書館部会事業計画及び予算について（案）</p> <p>(3) 2025 年度公益社団法人日本図書館協会短大・高専図書館部会幹事の選出について（案）</p> <p>(4) 2025 年度公益社団法人日本図書館協会短大・高専図書館部会図書館部会 部会長・副部会長について（案）</p> <p>(5) 2025 年度公益社団法人日本図書館協会短大・高専図書館部会推薦の代議員 員について（案）</p> <p>第1回幹事会（6/19 協会） 2025 年度役員について、事業計画、ワークショップ等について</p> <p>第2回幹事会（11/6 横濱屋（東京都港区）） ワークショップ振り返り、部会活動の今後について他</p> <p>部会総会 書面決議「書面決議書」39 件、部会総会は成立し、下記の議案が 了承。</p> <p>①2023（令和5）年度部会事業報告及び決算報告について ②2024（令和6） 年度部会事業計画及び予算について ③2024（令和6）年度部会幹事の選出 について ④2024（令和6）年度部会部会長・副部会長について ⑤2024（令 和6）年度部会推薦の代議員について</p> <p>第1回幹事会 6/21 日本図書館協会 2階研修室にて開催。①2023（令和6） 年度部会総会の成立と書面決議の報告 ②2024（令和6）年度役員 ③2024</p>

	(令和6)年度事業計画 ④2024(令和6)年度予算案 ⑤2024(令和6)年度ワークショップ、について意見交換を行った。
学校図書館部会	<p>部会総会(6/7 協会及びオンライン)</p> <p>(1) 2024年度事業報告 (2) 2024年度会計報告 (3) 2025年度事業計画 (4) 2025年度予算 (5) 部会推薦理事候補者の選出</p> <p>部会幹事会</p> <p>第1回(6/7 対面及びオンライン) 夏季研究集会準備、部会報内容等 第2回(7/21 オンライン) 夏季研究集会準備等 第3回(8/31 書面決議) 学校図書館施設設備基準 第2版訂正版 第4回(10/1 対面及びオンライン、京都) 夏季研報告集作成、部会報内容等 第5回(12/1 オンライン) 部会報内容、2026度夏季研準備等 第6回(2026/2/15 オンライン) 部会報内容、2026度夏季研準備等 第7回(2026/4/26 オンライン) 2026度夏季研準備、部会報内容等</p>
専門図書館部会	<p>部会総会(6/12 協会及びオンライン)</p> <p>(1) 2024年度部会事業報告並びに経費収支報告について (2) 2025年度部会事業計画と予算について (3) 2025年度役員の状況と選出について (4) 2025-26年度部会推薦理事の決定について (5) 第111回全国図書館大会愛媛大会分科会について</p> <p>役員会(メール会議、随時)</p> <p>部会総会の日程と議題、全国図書館大会企画案作成、2024年度事業報告案と収支報告について、2025年度事業計画と予算案について、2025年度部会役員の選出について、2025-2026年度部会推薦理事候補の選出について、ほか</p>
図書館情報学教育部会	<p>部会総会(6/8 対面及びオンライン、於青山学院大学)</p> <p>(1) 第34期(2025~2026年度)図書館情報学教育部会 部会長選考 (2) 2024年度活動報告 (3) 2024年度決算報告 (4) 2025年度活動計画(案) (5) 2025年度予算(案)</p> <p>幹事会</p> <p>第1回(6/22 オンライン)</p> <p>(1) 新旧幹事顔合わせ (2) 部会、幹事会の確認 (3) 幹事業務担当:部会内業務、派遣委員 (4) 活動部会2025年度総会資料の確認 (5) 部会報 (6) 今後の活動方針:研究集会について</p>

	<p>(7) その他</p> <p>第2回 (8/25 オンライン)</p> <p>(1) 協会本部・事務局関連</p> <p>(2) 研究集会参加証明書発行担当について</p> <p>(3) 部会 Web サイトについて</p> <p>(4) 全国大会分科会のあり方についての意見</p> <p>(5) 部会報発行について</p> <p>(6) 部会員メールアドレス管理について</p> <p>(7) 第2回研究集会について</p> <p>(8) その他</p> <p>第3回 (11/10 オンライン)</p> <p>(1) 事業計画, 次年度予算, 今年度予算提出書類確認</p> <p>(2) 第2回研究集会準備について</p> <p>(3) 「部会・委員会の今後のあり方」について</p> <p>(4) 部会報</p> <p>(5) その他: メーリングリスト管理報告, 『日本の図書館情報学教育』進捗状況, 他</p> <p>第4回 (2026/3/19 オンライン)</p> <p>(1) 第2回研究集会報告</p> <p>(2) FDプログラム修了証発行手続き</p> <p>(3) 2025年度事業報告提出について</p> <p>(4) 第112回全国図書館大会石川大会分科会共催について</p> <p>(5) 2026年度活動総会, 研究集会について</p> <p>(6) 部会報</p> <p>(7) その他: 代議員総会報告, 他</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[資料3] 会員のつどい（日本図書館協会会員の集い・各地の会員の集い等）開催状況

- ① 日本図書館協会会員の集い in 愛媛 10月31日（金）松山市総合コミュニティセンター
（参加者）55名 ※役員、実行委員会関係者含む
- ② 6/2（月）令和7年度日本図書館協会滋賀支部のつどいにて協会の活動報告を行なった。

[資料4]

出版事業（2025年4月～2026年3月）

<定期刊行物>

- ① 機関誌『図書館雑誌』月刊 B5 平均64p 5550部 933円（5, 8, 12月:1238円）（119巻4号～120巻3号）
- ② 『現代の図書館』季刊 B5 平均52p 2500部 1300円（62巻4号（通巻252号）～63巻3号（通巻255号））
- ③ 『日本の参考図書・四季版』季刊 B5 平均20p 2210部 600円（No.235～238）

<単行書等>

●新刊 (9点)

- ① インターネットで文献探索 2025年版 (JLA 図書館実践シリーズ 7) 伊藤民雄著 B6 215p
1800部 1900円 5月20日刊
- ② 図書館年鑑 2025 日本図書館協会図書館年鑑編集委員会編 B5 473p 1550部 20000円
7月31日刊
- ③ 学校図書館施設設備基準 解説―「対話」から始める (JLA Booklet no. 20) 日本図書館協会
学校図書館部会編著 A5 86p 1000部 1000円 10月20日刊
- ④ 学校図書館職員調査に見る学校司書等の現状 日本図書館協会非正規雇用職員に関する委員
会編 A4 79p 900部 2000円 11月30日刊
- ⑤ 司書が書く 2 図書館員のおすすめ本 (JLA 図書館実践シリーズ 50) 日本図書館協会図書
紹介事業委員会編 B6 207p 1300部 1800円 12月20日刊
- ⑥ 育ちあう住民と図書館 各地の活動を持ちより, 分けあう (JLA 図書館実践シリーズ 51) 蓑
田明子編著 B6 276p 1000部 2000円 12月30日刊
- ⑦ 経験としてのレファレンスサービス 大串夏身の熱い日々の思い出とこれから (JLA Booklet
no. 21) 大串夏身著 A5 67p 1000部 1200円 1月20日刊
- ⑧ 第46回図書館建築研修会 (2025年度) よい図書館をつくる in 関西 日本図書館協会図書
館施設委員会編集 A4 111p 750部 2500円 2月20日刊
- ⑨ 日本の図書館 統計と名簿 2025 日本図書館協会図書館調査事業委員会日本の図書館調査委
員会編 B5 518p 2040部 15000円 3月10日刊

●増刷 (14点)

- ① 図書館とゲーム イベントから収集へ (JLA 図書館実践シリーズ 39) 3刷 井上奈智・高倉
暁大・日向良和著 300部 1600円 5月刊
- ② 日本十進分類法 新訂10版簡易版 6刷 日本図書館協会分類委員会編 1000部 3000円
5月刊
- ③ 図書館情報資源概論 三訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 8) 3刷 馬場俊明編
著 1600部 1900円 5月刊
- ④ 図書館員が知りたい著作権80問 (JLA Booklet no. 18) 4刷 日本図書館協会著作権委員会
著 前田拓郎協力 1000部 1000円 10月刊
- ⑤ 図書館員のための英会話ハンドブック 国内編 改訂版 (JLA 図書館実践シリーズ 48) 3刷
日本図書館協会出版委員会編 500部 1700円 11月刊
- ⑥ 日本十進分類法 新訂10版 10刷 日本図書館協会分類委員会編 1000部 6500円 12月
刊
- ⑦ 図書館概論 六訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1) 2刷 塩見昇編著 1400部
2100円 1月刊
- ⑧ 情報資源組織演習 三訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 10) 3刷 和中幹雄・横
谷弘美共著 1100部 1900円 2月刊
- ⑨ 図書館制度・経営論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 2) 4刷 永田治樹編著 600部
1900円 2月刊
- ⑩ 基本件名標目表 第4版合冊版 4刷 日本図書館協会件名標目委員会編 300部 13000円

3月刊

⑪ 日本十進分類法 新訂 10 版簡易版 7 刷 日本図書館協会分類委員会編 1200 部 3000 円

3月刊

⑫ 児童サービス論 新訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6) 7 刷 堀川照代編著
1250 部 1900 円 3月刊

⑬ 図書・図書館史 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 11) 12 刷 小黒浩司編著 1200 部
1300 円 3月刊

⑭ 情報サービス論 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 5) 9 刷 小田光宏編著 800 部
1800 円 3月刊